

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 30 年 6 月 1 日	
所属部局・職	京都大学大学院 理学研究科生物科学専攻 動物行動学研究室 M1
氏名	小林 滉平

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
日本,屋久島
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
野外生物学実習 A (屋久島実習 植物班)
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 30 年 5 月 19 日 ~ 平成 30 年 5 月 25 日 (7 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
半谷 吾郎先生、篠原 渉先生 (植物班)、工藤 洋先生 (植物班)
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
<p>今回の実習では、屋久島に分布するシダ・コケ植物を対象として調査を行いました。屋久島は降水量が多く、その気候のために多くのシダが生息しています。また、広く高度の差がある地形であり、それに伴う気温の変化などから場所によって異なる種が分布していることも予想されます。加えて、シダには配偶体、孢子体という、大きく分けて 2 つのステージがあり、ステージによって分布のバリエーションが異なることもあります。そこで今回のフィールド調査では、「孢子体の高度による種分布の違いの調査」をメインテーマとしました。</p> <p>またサブテーマとして、生息可能な環境が限られ、本州では発見が少ない「葉上苔」を対象として「生息する種やその環境がどうなっているか」を調査しました。</p> <p>1 日目(5/19) 午前…屋久島に移動。 午後…植物班のオリエンテーション。</p> <p>2 日目(5/20) 日中…尾之間 (標高 161m と 350m 地点) で配偶体を探す。 夜…篠原先生が採集した孢子体を標本にする。配偶体を切って、DNA サンプルと証拠標本に分ける。</p> <p>3 日目(5/21) 日中…淀川 (標高 1300m 地点) で配偶体を探す。 夜…篠原先生が採集した孢子体を標本にする。配偶体を切って、DNA サンプルと証拠標本に分ける。 工藤先生が採集した葉上苔を実体顕微鏡で観察し、DNA サンプルに分ける。 作成した孢子体標本の同定を行う。</p> <p>4 日目(5/22) 日中…女川 (標高 185m 地点) で配偶体を探す。 夜…篠原先生が採集した孢子体を標本にする。配偶体を切って、DNA サンプルと証拠標本に分ける。 篠原先生が採集した葉上苔を実体顕微鏡で観察し、DNA サンプルに分ける。 作成した孢子体標本の同定を行う。葉上苔の同定を行う。</p> <p>5 日目(5/23) 「シダ孢子体の高度による種分布の違い」と「発見した葉上苔の種や生息環境、宿主選好性」等について、データを整理し、プレゼンテーション資料を作成する。</p>

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

6日目(5/24)

午前…プレゼンテーション資料の作成と発表練習。

午後…サル班と植物班それぞれのプレゼンテーションおよび質疑応答。

7日目(5/25)

午前…白谷雲水峡の観光

午後…京都に移動。

今後は、ゲノム実習の結果も加えて、シンポジウムにてポスター発表を行う予定です。



宿泊施設 PWSハウス屋久島



調査1日目 配偶体採集風景



配偶体採集風景



採集した孢子体



採集した配偶体をサンプルにする作業 (写真は自分)



ヨウジョウゴケの顕微鏡拡大写真

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

植物班では、調査後に温泉や観光を満喫することができました。



調査後の温泉



フィールド調査中に見かけたヤクザル

観光で訪れた「紀元杉」

6. その他 (特記事項など)

今回の実習では、普段訪れることのない屋久島の豊かな自然の中でフィールド調査をし、海外の方々と英語でコミュニケーションやディスカッションをしたりするという、貴重な経験をすることができました。このような経験は今後の僕の研究において、大いに役立つと感じています。また、自分の研究分野外であるシダ・コケ植物について多く学んだことで、他分野への興味や知見を深めることにつながりました。このような実習を開いていただき、本当にありがとうございました。